



2019年2月13日

各位

会社名 五洋インテックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮原 雄一
(JASDAQ・コード7519)
問合せ先
役職・氏名 専務取締役 梅野 拓実
電話 0568-76-1050

2020年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月24日に公表いたしました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回予想(A)	1,700	10	10	3	0.30
今回予想(B)	1,265	△230	△230	△175	△17.32
増減額(B-A)	△435	△240	△240	△178	—
増減率	△25.5%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績(2019年3月期)	1,531	△294	△312	△418	△41.45

2. 2020年3月期通期個別業績の予想との差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
前回予想(A)	1,450	15	5	2.48
今回予想(B)	1,055	△230	△110	△10.67
増減額(B-A)	△395	△245	△115	—
増減率	△27.2%	—	—	—
(ご参考)前期実績(2019年3月期)	1,216	△257	△250	△24.75

(注) 2019年7月1日付で1株につき5株の割合の分割を行っており、1株あたり当期純利益は、2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

3. 修正の理由

景気は、堅調に推移した企業業績や雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調が

見られました。当社グループを取り巻く事業環境として、室内装飾品関連（カーテン等）市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数は減少しております。

このような状況の下、売上高は、室内装飾品関連事業では主に建設が減少しているマンション関連会社への販売が振るわなかったことや消費税増税の影響などがあり、当初の売上計画を約12%下回る見通しです。

また、メディカル関連事業では、2019年7月12日に子会社となった五洋亜細亜株式会社（旧MNC株式会社）が8月中旬からメディカルツーリズムサービス事業を本格的に開始し、12月末までの約4.5ヶ月間で約95百万円の取扱高となり一定の成果を出すに至りました。しかし、株式会社キュアリサーチが子会社から除外された影響もあり、また五洋亜細亜株式会社の売上がグロス（総額）でなくネット（純額）での計上となったことから当初のセグメント売上計画比で約93%下回る見通しです。

利益面におきましては、2019年11月13日付の「2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異に関するお知らせ」で開示しました第2四半期までの状況と同様に特別利益（固定資産売却益及び貸倒引当金戻入額）を計上するものの、主要事業である室内装飾品関連の売上減少に伴う収益の悪化が要因となり当初の予想から損失が拡大する見込みです。

なお、個別業績予想の修正理由につきましては、主に上記の室内装飾品関連事業の売上減少によるものです。

(注) この資料に記載しております業績等の予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上